

アユモドキ



指定区分	国指定天然記念物
読みかた	あゆもどき
所在地	その他(地域を定めず指定)
指定年月日	昭和52年7月2日
解説	硬骨魚類ドジョウ科の淡水魚。全長15cmで泳ぐ姿がアユに似ていることから名前の由来の一つとされている。底質が砂や泥で礫が多い河川、用水路等の中層に生息する。琵琶湖淀川水系と岡山県の旭川・吉井川・高梁川だけに分布していたが、開発による生息地の破壊や、水質汚染等により生息数は急減し、高梁川では見られなくなった。現在では、生息地の保護や休耕田等を利用した産卵場所の確保、飼育下での人工繁殖などが進められている。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	岡山市立高島公民館などで保護活動学習の取り組みが積極的に行われています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	アユモドキ
よみかた	あゆもどき
しょざいち (所在地)	その他(地域を定めず指定)
していつひ (指定した日)	昭和52年7月2日
せつめい	すがたがアユににっていますが、ドジョウのなかまの淡水魚(たんすいぎょ)です。田んぼなどで産卵(さんらん)をするのですが、開発(かいはつ)によって田んぼの数が減ったり、川の水が汚(よご)れたりして、絶滅寸前(ぜつめつすんぜん)となっています。地域(ちいき)の人たちによって、保護活動(ほごかつどう)が進(すす)められています。